

JGN II イベント利用報告書

イベント番号(イベント-219)

提出日 平成19年7月9日

(1) イベント名

瀬戸内圏研究シンポジウム

(2) イベント概要

目的

JGN II のPR及び利用促進。

内容

香川大学が主催する「瀬戸内圏研究シンポジウム」が、サンポートホール高松で開催されるにあたって、JGN II を利用して、長崎県立大の立石憲彦先生、ならびに札幌医大の辰巳治之先生から、九州と北海道における、医療ITの利用、特に遠隔医療に関する講演をライブで行い、あわせてJGN II についてもPR及び利用促進を行った。

プログラム

日時： 平成19年7月5日（木） 13:30～17:00

場所： サンポートホール高松 第1小ホール

内容： 第1部 基調講演

「健康関連指標から見た瀬戸内住民の健康の実態－香川県を主として－」

真鍋芳樹 香川大学アドミッションセンター 教授

「生涯の健康を守る遠隔医療ネットワークの実現」

原 量宏 香川大学医学部附属病院 教授

立石憲彦 氏 長崎県立大学 教授（JGN II により参加）

第2部 パネルディスカッション

「瀬戸内住民の健康とその社会支援」

パネリスト

細松英正 氏 香川県健康福祉部長

戸城武史 氏 四国新聞社編集委員室 室長

大西美智恵 香川大学医学部 教授

辰巳治之 氏 札幌医科大学 教授（JGN II により参加）

真鍋芳樹 香川大学アドミッションセンター 教授

コーディネーター

原 量宏 香川大学医学部附属病院 教授

主催

香川大学

後援

総務省四国総合通信局、香川県、高松市、NHK 高松放送局、瀬戸内海放送、

四国新聞社、山陽新聞社、JGNII 四国連絡協議会、香川県医師会、香川県歯科医師会、

香川県薬剤師会、香川県看護協会

(3) JGN 2 利用の概要

第1部（基調講演）において長崎大学(九州-5)、第2部（パネルディスカッション）において札幌医大(北海道-2)とサンポート高松（四国-4）をJGN II 経由で接続し、長崎-札幌-高松間で映像配信(双方向)を行った。(合計3時間30分)

映像配信については、DVT Sによる伝送を行った。

(4)申請者(イベントの責任者)

所属機関： 総務省四国総合通信局
所属部署等、役職： 情報通信部 電気通信事業課

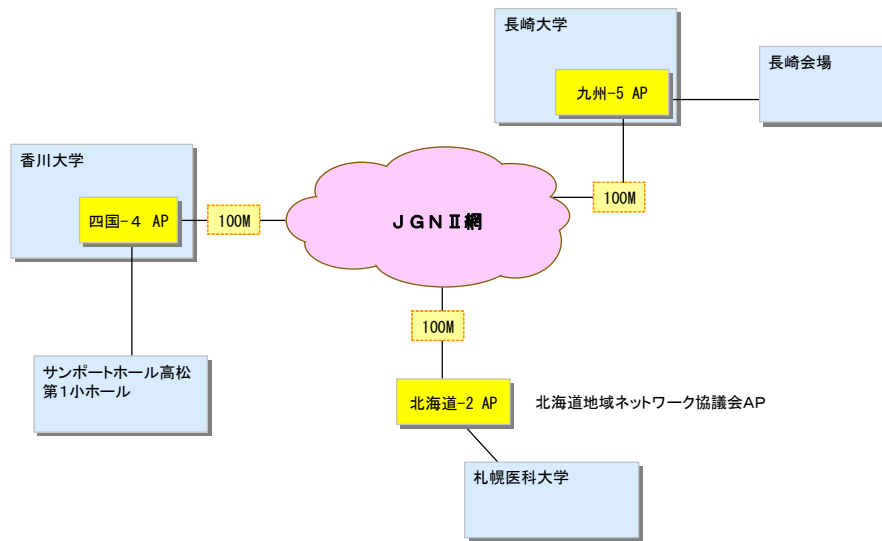
(5)イベントの利用にかかる連絡窓口

所属機関： 総務省四国総合通信局
所属部署等、役職： 情報通信部 電気通信事業課

(6)トポロジ(NW 及び機器構成詳細)

ア. 接続概念図

瀬戸内圏研究シンポジウムネットワーク構成: L2/uni-cast



(7)参加人数

121名

(8)実施の評価

ア 評価

「瀬戸内圏研究シンポジウム」は、香川大学が瀬戸内圏研究の中心となるべく「瀬戸内圏研究プロジェクト」を立ち上げ、その活動の一環として今回は、瀬戸内住民の健康・医療・福祉についてシンポジウムを開催しました。

シンポジウムの中で、JGNⅡを利用して長崎から、また通常のインターネットを利用して小豆島から遠隔講演をしていただき、またパネルディスカッションにおいても壇上のパネラーと一緒に札幌医大からJGNⅡを利用して参加し、きれいな画像と音声でその場に参加しているような感じです、と賞賛を得ました。

今回JGNⅡネットワークにおいてIPv4(長崎向け)とIPv6(札幌向け)を同一LAN上で使用しましたが、特に問題はありませんでした。(特にIPv6用に特化した使い方はしませんでした)

イ 開催風景

